

知ってもらうこと＝利用者、支援者

① こどもカフェマップ、リーフレットの作成

② 月刊ぱらざへの広告掲載

共に考え合う場＝運営団体

③ 交流会の開催

3

①その1 みんなのいいばしょ(こどもカフェ)マップの作成
編集委員会でマップを作成。保育園、幼稚園、小中高の全児童生徒へ配布を行ない、公共施設、登録団体、協力企業へも配布した。

The map displays the Sagami Lake Area (諏訪湖エリア) with various child-friendly spots (こどもカフェ) and facilities. The map includes a legend with icons for different types of locations like cafes, libraries, and play areas. It also features a list of participating organizations and their contact information, along with a QR code for more information.

4

③ 信州こどもカフェ普及推進のための交流会を月一回、オンラインおよび対面により実施した。
運営団体や利用者、支援者などさまざまな人と共に考える機会をつくる。



コロナ禍のためオンラインを活用。
各回オンライン併用で開催。



7

信州こどもカフェの推進は？

登録団体の増加(前年より19団体増)
連携の強化＝運営団体、協賛企業、支援者、地域、
新規こどもカフェ開設者
必要な人への情報提供

コロナ禍でも活動＝お互いの工夫、悩みや好事例の共有
多くの方に情報が行き届き、利用や支援が増加
登録団体、地域の方、企業、行政を巻き込んだ活動

8